



建物やトンネルなどに使われるコンクリート。どうやって目的に合う形をつくっているの？

生コンクリートを「型枠」に流し込み、設計図通りの形に固めています。

ビルやトンネル、橋などの構造物は、コンクリート製の巨大なブロックを組み合わせて建設されます。例えば、直方体のブロックをつくるためには、液体状の生コンクリートを直方体の形に固めるための「型枠」が必要です。私たちはこの型枠をつくり、大きな構造物の建設に携わっています。私たちが製造した型枠は全国に運ばれ、さまざまな工事現場で役立っています。みなさんの安全な暮らしを支える、縁の下の力持ちなんですよ。

▲恵庭にある工場

どんな型枠をつくっているの？



「桁」は、橋や道路の床材の下にあり、人や車の重さを支えています。安全で強い橋をつくるために欠かせない部材です。



「枕木」とは、鉄道のレールの下に敷くコンクリート製の棒のこと。レールの間隔を一定に保ち、重さを支える役割を担っています。



「補強材」は、地震などで建物が崩れるのを防ぐために、柱と柱の間に取り付ける部材です。学校の壁などに使われています。

ほかにこんなものをつくっています

全国の工事現場で使われる「クレーン」の製造も行っています。

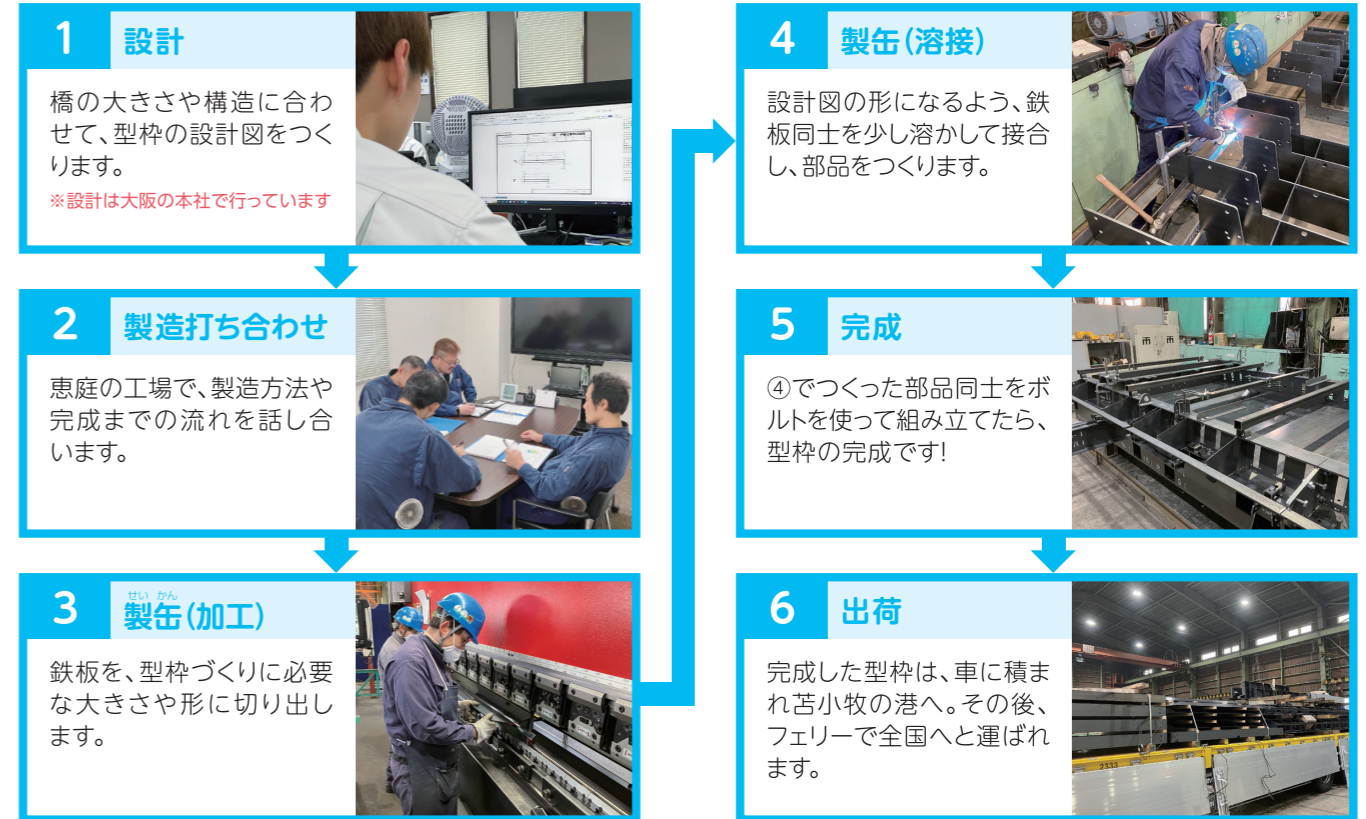
型枠の製造にかかる時間は約1か月。大きいものと40mになり、製造に6か月かかることもあるんだよ!

橋や鉄道、建物になど使われるコンクリートの型枠をつくっています。

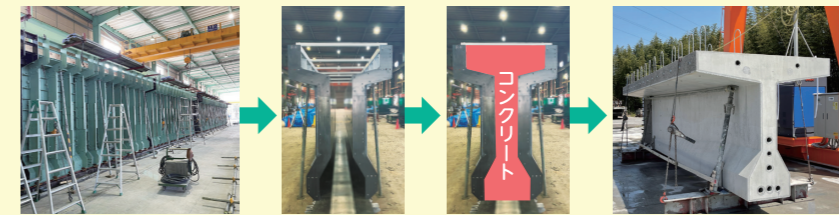
型枠はどうやってつくっているの？

設計図をもとに、鉄板を機械で切断・加工してつくっています。

橋をつくるための型枠ができるまでの流れを紹介します。



Point! 出荷された型枠は……



現場の職人さんによって組み立てられます。そこにコンクリートが流し込まれ、巨大なブロックがつけられます。



できあがったブロックは、こんなに大きな橋の一部になっています!

働く人の声を聞いてみよう!

Q&A



設計部
むらい こういち
村井 耕一さん

Q.仕事の内容と魅力を教えてください
設計を担当しています。資料をもとに時間をかけてつくった図面が実物になると、うれしくなります。

Q.今後の目標を教えてください
経験を積んで、1人でも正確な図面を設計できるようになりたいです。



製造部
いけだ ゆうと
池田 憂斗さん

Q.仕事の内容と魅力を教えてください
製缶(溶接)を担当しています。最初はできなかったことがうまくなると楽しいです。

Q.今後の目標を教えてください
安全を第一に、ミスなく素早くたくさん仕事をこなせるようになるのが目標です。